公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和3月9月2日

施設名 香北青少年の家	所管課	教育委員会生涯学習課
-------------	-----	------------

1 施設の概要

Ⅰ 施設の概要				
指定管理者名	(株)香北ふるさとみらい	指定期間	令和2年4月1日~令和7年3月31日	
施設所在地	香美市香北町吉野1300			
業務内容	・施設の利用の許可に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること ・主催事業を計画し、実施すること 〈令和2年度主催事業〉 ・日帰りだよ!親子忍者大会体験 ・日帰りだよ!プチ!! 親子避難生活体験 ・日帰りだよ!集まれ!!未来のピザ職人 ・日帰りだよ!忍者大会 ・日帰りだよ!親子でピザ職人 ・めざせ!!やなせたかし先生 ・青年リーダー研修			
施設内容	青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健全な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営している。 構造:本館 鉄筋コンクリート2階 延べ1,002.65㎡ 別館 鉄筋コンクリート平屋 延べ295㎡ 研修棟 鉄筋平屋 延べ300.16㎡ 施設概要: 研修室 3室(定員20名,80名,120名) 宿泊室 定員127名 浴室3室 野外炊飯場 3箇所 定員300名 ランニングコース 1コース 1.7km オリエンテーリングコース 1コース 10km ウォークラリーコース 2コース 5km			
職員体制	職員:所長1名 会計総務部長1 理主任1名 調理員3名 警備宿		S部1名 指導主任1名 指導員2名 調 	

2 収支の状況

(単付:円)

	7 T T 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17			\ + 2 . 3/
		R01年度(決算)	R02年度(決算)	R03年度(予算)
	県支出金	39,971,000	41,176,000	41,453,000
収 入	事業費収入	660,139	218,448	275,000
	収入計	40,631,139	41,394,448	41,728,000
	事業費	1,093,903	1,114,846	1,203,000
	管理運営費	13,588,690	13,721,774	11,362,000
支出	人件費	22,589,571	22,794,713	25,370,000
	消費税	3,358,975	3,763,115	3,793,000
	支出計	40,631,139	41,394,448	41,728,000
	使用料収入	1,612,203	275,740	1,343,000

3 利用実績

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
利用者数	16,469	15,129	15,478	12,681	3,927	12,737
利用団体数	175	162	166	132	67	140
宿泊者数	7,481	6,589	6,570	5,431	1,032	5,421
宿泊稼働率	24.3%	22.9%	24.9%	23.2%	7.8%	20.6%

4 業務の評価

4 美務の評価	
項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取 り組み	 ・コロナ禍でも実施できるように「忍者大会」をコロナ対応に修正し実施している点は評価できる(例えば、宿泊から日帰り事業に転換)。 ・世の中の要請に応える内容を事業に加えていることは評価できる。 ・感染症対策を反映した新しいプログラムの構築を行っていることは評価できる。新しい感染症対策版のプログラムについて、従前のプログラムと比較して何がどう変わったのかホームページに記載してほしい。 ・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、泊を伴う事業が日帰りに変更になったことは残念であるが、事業を中止することなく実施できたことはよかった。 ・親子避難生活体験では、小学1年から4年までの親子が参加し、未知に触れる体験・やりとげる体験など共同生活をする難しさや楽しさが体験できた。 ・主催事業にボランティアスタッフとして青年リーダーが参加し、保護者との関わり方の勉強の場にもなっている。 ・ホームページを活用し、行事予定や参加募集の情報をアップしている。また、施設申込や主催事業の申込書をダウンロードできるようにしている。 ・各プログラムにおいて「予防対策版」の開発や新規日帰りプログラムに取り組んでいることなど多いに評価したい。
②利用者へのサービス向上のための改善策	・リスク管理や消毒、事業の内容修正など、コロナウイルス感染症対策としての対応が取られている。 ・コロナ禍でも実施できる事業を増やしていこうとする態度は評価できる。 ・利用者にアンケートをとって施設運営の改善やプログラムの内容修正に生かしている。 ・主催事業の参加者にアンケートを実施したり、利用者と対話することでニーズのキャッチを行っている。 ・利用者ニーズの把握のためにアンケート分析などを全力で取り組んでいる事を評価したい。 ・小学校の宿泊体験学習では、学校と綿密な打合せを行い、よりよい体験学習ができるように努めている。
③施設の運営について	・良く取り組めている。 ・老朽化してきた施設を担当課と連携をとりあい、改修を行ったり、職員でピザ窯を設置したりしている。 ・野外飯ごう炊飯場は貴重な体験の場であるので、少しずつの改修(椅子やテーブルの取り替え)ではなく、全面改築ができたらよい。 ・施設の老朽化が進む中で、細部にわたる対応、対策を実施している事を評価する。

④利用実績		 ・参加者人数が大幅な減少となっているが、感染症の影響によるものであり、できる範囲の中では良く取り組めている。 ・コロナ禍においても、宿泊を伴う事業を日帰りにして対応しできるだけ事業を行う努力をしている。 ・コロナ禍における利用実績の低下はやむを得ないが、向上に向けて、なお一層の研究、対策を期待する。
⑤収支の状況		・参加者が減少していることで費用の実績も下がる部分が多少なりともあると思われるが、予算そのものを引き下げるか、参加人数に合わせた規模にしていく必要があるのではないか。2019年やそれ以前の参加者人数規模に戻ることは2022年度も難しいと思われるため、「参加者を(無限に)増やす」から「少人数でできるプログラムの構築と実施回数を小分けにする」というふうに変化させて、それに応じた予算の組み立て方を検討する必要がある。その結果、予算規模が下がる可能性もあろうかと思われる。・報告書(消費税)の科目の表記について変更する必要がある。
総合評価		・コロナ対策をしっかり行い、安全を第一に考えながら、これまでの事業を現状にあわせて修正し、さらに新事業にも挑戦していってほしい。高知県を代表する青少年教育施設としての活動に期待する。 ・厳い条件下で良く取り組めている。 ・感染症対策に関する取組についてはホームページでの情報発信を積極的に行ってほしい。 ・コロナ禍において、行事の見直しを図り工夫した取組がなされている。児童・生徒にとって野外での活動や宿泊体験など貴重な経験を積める施設であるので、今後もコロナの状況に合わせながら様々な取組を進めてほしい。

A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの

【評価の目安】

- B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。